

社報  
あそ  
みや

平成13年11月1日  
第 29 号

発行所  
阿蘇神社社務所  
多良見町化屋名862  
Tel. 0957-43-5235

## 例祭での神楽舞奉納

### 例祭を終えて

阿蘇神社  
宮司 大島 大明

平成十三年の例祭を悉なくご奉仕申し上げました。当社は天文三年(一五三四年)の仲秋に熊本県一の宮の阿蘇神社よりご分霊を戴き、喜々津の守護神として祀つたと伝えられます。例祭は神社創建の日であり「喜々津くんち」とも称され、阿蘇神社で最も大切な祭典とされています。例祭とは一年に一度の大祭のことで、御神輿(おみこし)を保有する神社では、神様を御神輿にお移

し申し上げ、氏子中を廻られます。これを「御神幸」といいますが、昨今では御神輿が出ることを「くんち」と思っている方も多いようですが、阿蘇神社には何故か御神輿がなく祭典のみが蕭々と行われます。因みに「くんち」は「供日」または「富日」という字が当てられますが、年に一度氏子が神社に集い神様に供え物をし、祭りを行う日のことです。

#### 敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向かふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、

神のみこともして世をつくり固め成すこと

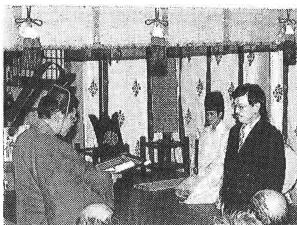
一、大御心をいただきてむづび和らぎ、

国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

## 平成十三年 例祭志なく終了！

平成十三年の阿蘇神社例祭が去る十月十五日午前十一時より斎行されました。例祭は「くんち」とも云い、神社が鎮座した縁深き日に当たります。「くんち」と云うと長崎くんちが有名ですが、神社で行われる年に一度の大祭(例祭)を「くんち」と云います。

定刻宮司以下祭員が参進。神前には神饌と共に、神社本庁及び長崎県神社庁よりの幣帛料が供えられました。



祭は恙なく終了しました。

祭典終了後神社への奉納・寄進者への感謝状の贈呈式が行われました。

▽当日感謝状を贈呈された方

◎鯰の額奉納

竹迫純草 西平公洋 西平久佳

◎社務所へクーラー寄進

阿蘇神社奉納相撲実行委員会

(会長 松尾義光)

◎参拝者用鈴及び鈴の緒奉納  
有限公司 森商会 森 正雄

次に宮司により感謝と奉祝の祝詞が奏上され、続いて巫女が笛・太鼓に合わせて神楽舞を奉納しました。その後宮司以下参列者の代表が玉串を奉つて拝礼を行い、例

陛下の御肖像画が奉納されており

なお、例祭に際し御初穂料及び奉獻酒を以下の通り賜りました。御芳名を記しお礼を申し上げます。  
◆初穂料  
松本 淳、森 商会・森 誠司、  
前田明道、森 開発・森 強、  
阿蘇神社奉納相撲実行委員会・  
会長松尾義光、森憲一郎、菅崎清司、JAことのうみ喜々津支所長・草野栄、石場照喜、石丸隆男、富永喜志雄、山田豊明、前山弘、北島守幸、吉野徹、木下保

◆お知らせ◆  
近年十月になると「出雲大社から来ました」と云つて、御神札を右に飾られています。ご参拝の折りに以上の品々をご覧下さい。

なお、例祭に際し御初穂料及び奉獻酒を以下の通り賜りました。御芳名を記しお礼を申し上げます。  
◆初穂料  
松本 淳、森 商会・森 誠司、  
前田明道、森 開発・森 強、  
阿蘇神社奉納相撲実行委員会・  
会長松尾義光、森憲一郎、菅崎清司、JAことのうみ喜々津支所長・草野栄、石場照喜、石丸隆男、富永喜志雄、山田豊明、前山弘、北島守幸、吉野徹、木下保

◆お知らせ◆  
近年十月になると「出雲大社から来ました」と云つて、御神札を右に飾られています。ご参拝の折りに以上の品々をご覧下さい。

◆奉獻酒  
十八銀行多良見町支店長／森下芳夫、たちばな信用金庫多良見支店長／島田 滋、親和銀行多良見支店長／山口健二  
以上

◆お知らせ◆  
阿蘇神社では出雲大社に対し、御神札を頒布するため出向いてはいけないと神社本庁の規則で定められています。  
出雲大社としての対応について文書で申し入れをいたしました。  
出雲大社よりの回答は「大社の名を騙り迷惑をしている。一切関係ない。御神札を受けたい方は、直接参拝して受けていただきたい」との事でござります。  
今後廻ってきた場合は、相手にしないようお願いします。またしつこいようであれば、警察へ連絡いたします。

## 阿蘇神社恒例

### 奉納相撲大会終了!

阿蘇神社恒例の奉納相撲大会が去る九月十五日午前十一時より境内相撲場で開催されました。

阿蘇神社の相撲大会の歴史は古く、二百年以上も前より行われており、戦時中も絶えることなく行われてきたと伝えられます。

当時は先ず相撲大会事始神事が関係者の参列のもと厳かに行われ、土俵が祓い清められました。引き続き開会式が行われ、優勝杯の返還、選手宣誓が行われました。

今年りの相撲大会には町内外より二十一チーム、九十余名のちびっこ選手が集い、団体戦・個人戦そして抜相撲と熱戦を繰り広げました。例年のことながら、事前の準備から当日の運営・後片づけと奉納相撲実行委員会(会長松尾義光氏)の皆様方には、大変ご苦労をお掛けいたしました。また、大会運営に資金面でのご協力をいただいている市子各位、景品のご寄贈をいただいています町内外各商社の皆様方に衷心より篤くお礼を申し上げます。

今後とも伝統ある相撲大会が絶えることなく継続されますよう、氏子崇敬者各位のご支援ご協力をお願い申上げます。

### ○相撲大会の成績○

#### ◇地区対抗戦◇

優勝	中里
二位	木床B
三位	西川内B
木床A	



優勝の中里チーム

◎一・二・三年生の部  
優勝 森 泰亮(中里)

◎六年生の部	
優勝	山下 翼(中里)
二位	古賀剛史(喜々津団地)
三位	山本圭一(木床)

◇町対抗戦	
優勝	大村B
二位	高来A
三位	白木勇士(船津)



二位 浅井翔太(木床)  
三位 古賀健司(喜々津団地)  
三位 矢野恭平(船津)

### NBCラジオ

### スキッピービー來訪

相撲大会の前日(十四日)、午後二時四〇分から四分間ですが、NBCラジオのスキッピーにより社務所から生放送されました。

奉納相撲実行委員会の北島守幸副会長がレポーターの質問に答えるという形式で放送が行われました。四分間という短い時間ではありましたが、相撲大会の宣伝を行いました。

# 七五三詣は阿蘇神社へ

## ◆奉納御礼◆

男女三歳を「髪置」、五歳男児を「着袴」、七歳女児を「帶解または紐解」といい、いずれも子供の健やかなる成長を祈る祭りです。ご家族お揃いで是非ご参拝下さい。

今年は神社に多くの品々がご奉納されました。「鰐」の額に続いて、拝殿の御簾(みす)、「天皇陛下の肖像画」、そして参拝者用鈴と鈴の緒が新たに掲げられました。これに、盾・鉾も加わって阿蘇神社の装いも随分変わった感がします。

## ◆編集後記◆

去る九月二十日附で阿蘇神社兼務権禰宜として本田孝裕(本務は久山町の年神社)を任用しました。今後宮司に替わって応対することもあるうかと存じますが、宜しくご交誼を賜りますようお願い申し上げます▼アメリカで航空機によるテロが発生。報復の空爆も始まりました。悲しいことです。一日も早い解決を祈りたいと思います▼一雨ごとに寒くなりります。ご自愛専一にお過ごし下さい。

◆神社では十一月十日(土曜日)、十一日(日曜日)、十五日(木曜日)の三日間は、終日七五三詣での祈願を受け付けます。

その他のご参拝の方は、地鎮祭などで留守をする場合もござりますので、事前に社務所まで連絡をお願いいたします。

◆七五三詣など神社へご参拝の方のために、イーグルパチンコ店の駐車場を借用いたしておりますので、ご利用下さい。



◎大駐車場完備	(阿蘇神社裏)
イーグルパチンコ	
神社参拝の駐車場としてもご	利用下さい